

鹿児島県大島郡宇検村湯湾915番地

電話：0997(67)2211番

FAX：0997(67)2987番

発行所：宇検村役場

編集：企画課

URL <http://www.uken.net>

Mail [kikaku@uken.net](mailto:kikaku@uken.net)

CONTENTS

- P 2～3 村成人式・消防出初め式
- P 4～7 むらの話題
- P 8～9 お知らせ
- P 10 名柄中口ポコン全国出場
- P 11 広告
- P 12 村民のうごき



ヒカンザクラが綺麗に開花すると、花の蜜を吸うためにたくさんのメジロが集まります。

【写真撮影＝2月6日（株）奄美大島開運酒造の事務所前】

# 新しい年は始まらない!

新成人を代表して謝辞を述べる重山和茂さん ◀



▲ 今年、昭和63年4月2日～平成元年4月1日までに生まれた方が、新成人の対象者でした。

本村では27名の該当者がおり、そのうち21名の方が成人式へ出席しました。



村民憲章を壇上で読む肥後 恭平さん



はたちの誓いを読む本間 幸生さん

## 平成21年 宇検村成人式



新成人者二十一名が出席し、平成二十一年宇検村成人式が一月四日に、元氣の出る館で行われました。式では、新成人者全員による「村民憲章」並びに「はたちの誓い」の朗読がされ、多くの来賓の方々からお祝いの言葉が述べられました。また、余興では、村鎌踊り保存会の皆さんによる「鎌踊り」が披露されたほか、村連合青年団からお祝いとして、新成人者の子供の頃

の成長過程を編集したビデオが大型スクリーンに映し出されました。新成人者を代表して、須古出身の重山和茂さんが「これからは、何事にも自身で責任を持つて解決しなければなりません。私たちが、これから進む道はそれぞれに違いますが、自分の将来と目的に誇りを持っていくことを誓います。」などと謝辞を述べました。



華やかな着物姿を披露する女性陣。本当に素敵でした。

# この2大イベントがなきゃ、

恒例の行事として、年始めに行われている  
成人式と消防出初式が、今年も盛大に開催されました。  
初々しい新成人者の姿と頼もしい消防団員の姿をご覧ください。



テキパキした手旗信号の演技で頼もしい姿を見せてくれた海洋少年団



カラフルな水を使用して披露された、迫力ある全分団の一斉放水

## 平成21年 宇検村消防出初式



消防関係者が一同に集まり、一月六日に平成二十一年宇検村消防出初式が行われました。

出初式は、田検小学校鼓笛隊を先頭に総勢八十二名の団員による役場から陸上競技場へのパレードが始まり、規律とスピードが試される消防操法や全分団による一斉放水が行われたほか、十六名の団員が功績章などの表彰を受けました。

また、今回はアトラクシ

ョンとして、昨年に本村と瀬戸内町の小学生二十六名で結成された「奄美瀬戸内海洋少年団」の児童が手旗信号の演技披露を行い、会場に訪れた観客を楽しませてくれました。

國馬村長は訓辞のなかで「村民が安心して暮らしているのも皆様のおかげです。今後も災害の未然防止と意識の啓発、自主防災組織の育成に努めましょう。」などと呼びかけました。



宇検・生勝分団による小型ポンプの消防操法



県消防協会功績章を表彰された安田晃典副団長



# わきやしま しゅん わだい 宇検村の旬な話題

\*このコーナーでは、宇検村内の旬な出来事を紹介します。みなさんの周りにあるめずらしいことなど、情報をお待ちしています。

宇検村役場 企画課 広報係 ☎ 0997-67-2211



教室終了後に指導者を囲んで記念撮影

## トップアスリートに学ぶ ～久志小中学校でソフトテニス教室～

1月21日、久志小中学校でソフトテニスの元アジアチャンピオン<sup>ぎょくせん はるみ</sup>玉泉 春美さん（ミズノ（株））と、アドバイザー<sup>ながの ひろみつ</sup>スタッフの長野 廣充さんによるソフトテニス教室が行われました。

この教室は、文部科学省と（財）日本体育協会が推進する「子どもの体力キャンペーン」トップアスリート派遣指導事業の一環として行われたもので、久志小中学校が本事業へ応募したところ選ばれ、実施の運びとなったそうです。

同校は本事業を実施しようと考えた理由を、「子供たちがトップアスリートとのふれあいを通して、憧れや夢を持ち、自分の生き方を考えるきっかけを作ること。」などと話してくれました。

教室では、基本的な技術を学んだほか、玉泉さんのカットサーブに子供たちが挑戦し、トップレベルの技術を肌で感じていました。



丁寧な指導を受けました



週に1度バドミントンで汗を流す宇検クラブの皆さん（前列左が屋宮さん）

## 魅力たっぷりのバドミントン ～水鳥杯バド大会で屋宮<sup>おくみや さとる</sup> 悟さんが優勝～

1月25日に第32回水鳥杯バドミントン大会（奄美市バドミントン協会主催）が奄美市名瀬総合体育館において開催され、<sup>おくみや さとる</sup>屋宮 悟さん（湯湾）が、<sup>しものかど つとむ</sup>下之門 努さん（奄美市）とペアを組み、団体男子B級へ出場し、見事優勝を飾りました。

屋宮さんが所属する宇検バドミントンクラブは、平成18年に発足し、現在会員は8名おり、毎週火曜日に村総合体育館のほうで練習を行っています。会員の方々は、それぞれのペースで技術の向上を目指し、練習に励んでいます。

屋宮さんは、「週に一度おもいきり体を動かすことができ、とても楽しいです。大会も年に6回ほどあり、階級別となっているので、自分に合ったレベルで大会に挑戦できるのも魅力の一つです。」と話してくれました。新メンバー大歓迎だそうです。興味のある方は、練習のようすを覗いてみてはいかがでしょうか。

## 第3回 開運酒造杯を開催



力強いスパイクを放つ選手

1月17・18日に、「第3回奄美大島開運酒造杯中学女子バレーボール大会＝(株)奄美大島開運酒造 主催」が村総合体育館と田検中体育館で開催されました。

今大会は、奄美で唯一民間企業により開催される大会で、民間と地域が一体となって地域の子供たちの健全育成を図ることを目的に二年前から行われています。大会には奄美大島内の12チームが出場し、二日間にわたり熱戦を繰り広げました。

本村から出場した田検中女子バレー部は優勝決定リーグへ進み、朝日中・赤木名中との両試合でフルセットまでもつれる接戦を見せましたが、それぞれセットカウント2-1で惜敗し、第三位の結果となりました。

また、17日の大会後には、北京オリンピック全日本男子のコーチである大竹 秀之さんおおたけ ひでゆきによるバレーボール教室及び講話が行われ、丁寧に説明をしながら語る大竹さんのバレーボールに関する色々な話に、子供たちも真剣な表情で聞き入っていました。



◀選手を応援する父兄の皆さん



田検・赤木名中との決勝戦を制し、優勝した朝日中の皆さん ▼



試合後、大竹さんにアドバイスを受ける選手



収穫したタンカンを前に記念撮影

## 阿室小中がタンカン収穫体験

阿室集落の宝村 満さんたからむら みつるの呼びかけで、2月9日に阿室小中学校の生徒8名が、阿室にある宝村さんのタンカン農園でタンカン収穫を体験しました。

この収穫体験は、普段農作業が忙しく阿室小中学校の子供たちと関わる機会が少ないと感じていた宝村さん夫婦の、「子供たちへ何かできることはないか。」という思いから実現したものです。

収穫体験では、宝村さんが今年のタンカンの状態や収穫方法について話をしたあと、さっそく、生徒全員で収穫作業を行っていました。収穫後にはタンカンの試食も行われ、生徒の皆さんは、「甘くておいしい！」と笑顔で季節の味を楽しんでいました。

最後に中学1年生の中田 秀大朗くんなかだ しゅうたろうが、「忙しい中、このような場を設けて頂き有り難うございました。」とお礼の言葉を述べました。



袋いっぱいタンカンを収穫しました



海沿いの赤い部分が新しく整備された県道  
(写真提供=大島支庁瀬戸内事務所)

## 県道湯湾バイパスの開通式

～休憩施設「ゆどうんじゃー前倉」も完成～

1月30日に県道湯湾バイパスの開通式が、湯湾集落の信号交差点近くで行われました。

このバイパスは、湯湾集落の中心部を通っていた県道を海側へ移したもので、道路幅の拡張と歩道を整備したことにより、車両の通行や歩行者の安全確保が図られています。

開通式には、関係機関の代表や湯湾集落民などが出席し、安全祈願祭やテープカットが行われたほか、開運太鼓の皆さんが太鼓演舞を披露し式に花を添えてくれました。続いて、田検小鼓笛隊を先頭に出席者全員で通り初めを行い、開通を祝いました。

総事業費は17億1千4百万円、全体延長1<sup>キロ</sup>の区間に、朝戸橋(延長14.3<sup>メートル</sup>)と百年橋(延長23.7<sup>メートル</sup>)も新たに整備されました。

また、今回の開通に合わせて休憩施設『ゆどうんじゃー前倉』が、新たに整備された県道沿いに完成しました。この施設には、休憩室とトイレ、倉庫が設置されており、本村を訪れた方などがゆっくりと休憩する場所として大きな役割を果たすものと考えています。



湯湾集落の新たな憩いの場  
『ゆどうんじゃー前倉』



開通後最初に車で県道を通る山野忠士さん(湯湾)



出席者全員で通り初めを行い完成を祝いました



伐採跡地にイジュを植えました

## ハイビスカスとイジュを植樹

2月24日に赤土山の村有林で、村植樹祭が行われました。

これは、「林業の村」のアピールと赤土山の森再生を目的として行われたもので、森林の伐採跡地にイジュを700本、昨年に続き赤土山公園近くの道路沿いにハイビスカス500本を植栽しました。

植樹祭へは役場職員と村議会議員に加え、集落区長、民生

委員、漁業林業関係者の方など多くの参加がありました。応援に駆けつけた元山<sup>もとやま</sup>義和<sup>よしかず</sup>大島支庁長と國馬村長が、赤土山公園にヒカンザクラ2本を記念植樹した後、参加者全員で作業を行いました。

本村は森林を産業に活かすと共に、再生保護にも取り組んでいきたいと考えており、今後も植樹祭を計画的に継続していきたいと思えます。



多くの方が参加してくれました